

徳島県・神山町グリーンバレー視察 (前編)

議員 青 沼 進 二

神山町は徳島空港から市内を通過し、吉野川を遡上しバスで1時間ほどのところにあるかなり山深い地で、人口は6千人余り。その神山町を有名にしたのはあるプロジェクトを実施することにより過疎の町が人口の増加に転じたということで、そのプロジェクトとはいかなるものか、大いに関心をそそられ新島村にも応用できるのではないか、そのような期待を抱いての視察となった。

神山町農村環境改善センターを拠点にNPO法人グリーンバレーが進めているもので、まずはスタッフの樋泉氏(一時期、新島村に滞在していた)に案内してもらったのは、古民家を改造して東京のIT企業・サンサンがサテライトオフィスとして利用している施設。

見てのとおり明るい開放的な佇まいで中では十名ほどの社員が、めいめい液晶の画面とにらめっこ、あるいはキーボードを叩いていた。時間に追われている感じはなく、マイペースの雰囲気濃厚。この日は地元の人がキッチンで昼食の支度をしてい



交流の食事会とのこと。この他にこの敷地には蔵を改造した資料施設や昔の芝居小屋があり、今後の発展の可能性を伺わせた。

次はバスで5分ほど行ったところにある縫製工場の廃屋を利用したやはりサテライトオフィス。内部は広くほんの一角を仕事場にしている。あとはイベントの展示室になったり、会議室になったりと様々な使われ方をされているという。備え付けの什器はすべて廃品の再利用。このときはオフィスに和服姿の社員が一人、新しいソフトの開発をしていた。

最後にセンターへ行き、グリーンバレーの生みの親でもある大南信也理事長の講演を聴き、質疑応答となった。